

1. 化学物質等及び会社情報

製品情報

製品番号	製品名 (製品現物は英文表記)
50841	AccuGENE™ 10X TAE Buffer- 4 L
50844	AccuGENE™ 10X TAE Buffer
51216	AccuGENE™ 50X TAE Buffer- 1L

会社情報

会社名	: ロンザジャパン株式会社 バイオサイエンス事業部
住所	: 〒104-6591 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー
電話番号	: 03-6264-0660
FAX番号	: 03-6264-0601

2. 危険有害性の要約

酢酸として (CAS番号 : 64-19-7)

GHS分類区分

物理化学的危険性	
引火性液体	: 区分3
健康に対する有害性	
急性毒性 (経皮)	: 区分4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分1
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 区分1 (血液、呼吸器系)
環境に対する有害性	
水生環境有害性 (急性)	: 区分3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

:



炎



感嘆符



腐食性



健康有害性

注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 引火性の液体及び蒸気
皮膚に接触すると有害

酢酸 含有製品

Version
改訂日

006
2016年06月01日

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
血液、呼吸器系の障害
水生生物に有害

- 注意書き** **安全対策** :
- 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
 - 容器を密閉しておくこと。
 - 静電的に敏感な物質を積みなおす場合、容器を接地すること、アースをとること。
 - 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
 - 火花を発生させない工具を使用すること。
 - 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 - ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 - 取扱い後はよく手を洗うこと。
 - 適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 - この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 - 環境への放出を避けること。
- 応急措置** :
- 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
 - 火災の場合には適切な消火方法をとること。
 - 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
 - 皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
 - 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 - 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - 皮膚に付着した場合、眼に入った場合、飲み込んだ場合、吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。
 - 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - 暴露した場合：医師に連絡すること。
- 保管** :
- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 - 施錠して保管すること。
- 廃棄** :
- 内容物、容器は許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

3. 組成及び成分情報

【含有する化学物質の名称】 酢酸 (Acetic acid)
【含有率】 下表に示すとおり

含有率 [w/v%]	含有製品の製品コード	製品数
6	51216	1
1.2	50841、50844	2

酢酸 含有製品

Version
改訂日

006
2016年06月01日

単一の化学物質 / 混合物 : 混合物 (表中3製品すべて)

危険有害成分

成分	化学式	化審法官報公示 整理番号	安衛法官報公示 整理番号	CAS番号
酢酸	CH ₃ COOH	(2) - 688	公表	64-19-7

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。直ちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 直ちに医師に連絡すること。水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状 : 吸入：咽頭痛、咳、灼熱感、頭痛、めまい、息切れ、息苦しさ
皮膚：痛み、発赤、水疱、皮膚熱傷
眼：発赤、痛み、重度の熱傷、視力喪失
経口摂取：腹痛、灼熱感、下痢、ショック/虚脱、咽頭痛、嘔吐
- 最も重要な徴候及び症状 : 蒸気を吸入すると、肺水腫を引き起こすことがある。胃腸管に影響を与え、胸焼け、便秘を含む消化障害を生じることがある。
- 医師に対する特別な注意事項 : 肺水腫の症状は2～3時間経過するまで現われない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。医師又は医師が認定した者による適切な吸入療法の迅速な施行を検討する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水、水噴霧
- 特有の危険有害性 : 極めて燃え易く、熱、火花、火炎で容易に発火する。消火後再び発火するおそれがある。火災時に刺激性、腐食性及び有毒ガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器が熱に晒されているときは、移動させない。安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- 消火を行う者の保護 : 適切な空気呼吸器、防護服 (耐熱性) を着用する。

酢酸 含有製品

Version
改訂日

006
2016年06月01日

6. 漏出時の措置

- | | |
|------------------------------|---|
| <p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</p> | <p>: 全ての着火源を取り除く。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
密閉された場所に立入る前に換気する。</p> |
| <p>環境に対する注意事項</p> | <p>: 環境中に放出してはならない。</p> |
| <p>回収・中和</p> | <p>: 不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。</p> |
| <p>封じ込め及び浄化の方法・機材</p> | <p>: 危険でなければ漏れを止める。</p> |
| <p>二次災害の防止策</p> | <p>: すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。</p> |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- | | |
|------------------|---|
| <p>技術的対策</p> | <p>: 適切な保護具を着用する。</p> |
| <p>局所排気・全体換気</p> | <p>: 局所排気、全体換気を行う。</p> |
| <p>安全取扱い注意事項</p> | <p>: 取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
皮膚と接触しないこと。眼に入れないこと。</p> |
| <p>接触回避</p> | <p>: 情報なし</p> |

保管

- | | |
|---------------|--|
| <p>技術的対策</p> | <p>: 消防法の規制に従う。</p> |
| <p>混触禁止物質</p> | <p>: 情報なし</p> |
| <p>保管条件</p> | <p>: 容器を密閉して冷乾所にて保存すること。熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から離して保管すること。換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。</p> |
| <p>容器包装材料</p> | <p>: 情報なし</p> |

酢酸 含有製品

Version
改訂日

006
2016年06月01日

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

- | | |
|--------|--|
| 日本産衛学会 | : 10ppm
25mg/m ³ (2009年版) |
| ACGIH | : TWA 10ppm、STEL、15ppm (2009年版) |
| 設備対策 | : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には防爆型の全体換気装置、局所排気装置を設置すること。 |

保護具

- | | |
|------------|---------------------|
| 呼吸器の保護具 | : 適切な呼吸用保護具を着用すること。 |
| 手の保護具 | : 適切な手の保護具を着用すること。 |
| 眼の保護具 | : 適切な眼の保護具を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 適切な保護衣を着用すること。 |
| 衛生対策 | : 取り扱い後は、よく手をあらうこと。 |

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- | | |
|----|-------|
| 形状 | : 液体 |
| 色 | : 無色 |
| 臭い | : 刺激臭 |

安全性データ

- | | |
|--------------|---------|
| pH | : 情報なし |
| 沸点 | : 情報なし |
| 融点 | : 情報なし |
| 引火点 | : 情報なし |
| 発火点 | : 情報なし |
| 爆発性 | : 情報なし |
| 蒸気圧 | : 情報なし |
| 比重 (密度) | : 情報なし |
| 溶解度 (水、溶剤など) | : 情報なし |
| オクタノール・水分配係数 | : 情報なし |
| 分子量 | : 60.05 |

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱においては安定と考えられる
反応性	: 情報なし
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

製剤としての情報はない。酢酸として (CAS番号: 64-19-7) の情報に基づき分類した。

急性毒性 (経口)	: ラットのLD ₅₀ 値=3310、3530 mg/kg (PATTY (5th, 2001)) に基づき、JIS分類基準の区分外(国連分類基準の区分5) とした。
急性毒性 (経皮)	: ウサギのLD ₅₀ 値=1060 mg/kg (PATTY (5th, 2001)) から区分4とした。
急性毒性 (吸入)	: ラットのLCL ₀ =16000 ppm (PATTY (5th, 2001)) は区分4あるいは区分外に相当することから分類できないとした。

12. 環境影響情報

製剤としての情報はない。酢酸として (CAS番号: 64-19-7) の情報に基づき分類した。

生態毒性

水生環境急性有害性	: 甲殻類 (オオミジンコ) での48時間EC ₅₀ = 65000µg/L (AQUIRE, 2010) であることから、区分3とした。
水生環境慢性有害性	: 急速分解性があり (BODによる分解度: 74% (既存化学物質安全性点検データ))、かつ生物蓄積性が低いと推定される (log Kow=-0.17 (PHYSPROP Database, 2005)) ことから、区分外とした。
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

酢酸 含有製品

Version
改訂日006
2016年06月01日

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 除去及び処分のために適切な容器に集めて廃棄する。自治体の規定に従うこと。
- 汚染容器及び包装 : 許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意**国際規格**

- 海上規制情報 : 該当しない
- 航空規制情報 : 該当しない
- 国連番号 : 該当しない

特別安全対策

- : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

酢酸として (CAS番号 : 64-19-7)

- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条、政令第18条第1号別表第9の176、酢酸、1%以上)、
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (政令第18条の2別表第9の176、酢酸、1%以上)
別表9第634号、労働安全衛生規則第34条の2・別表第2の2)
腐食性液体 (労働安全衛生規則第326条)
危険物・引火性の物 (施行令別表第1第4号)
- 化学物質管理促進法 : 該当しない
- 海洋汚染防止法 : 有害液体物質 (Z類物質、施行令別表第1)
- 消防法 : 第4類引火性液体第二石油類、水溶性液体 (法第2条第7項危険物別表第1・第4類)
- 船舶安全法 : 腐食性物質 (危規則第3条危険物告示別表第1)
- 航空法 : 腐食性物質 (施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報**【作成年月日、改訂情報】**

- 作成年月日 : 2011年02月28日
- 改訂日 : 2016年06月01日

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。